

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF安城		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動療育への満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で毎日、利用者の課題やその日の様子を共有する時間を設けており、職員全体で支援の質を向上を図るとともに利用者一人一人に対して適切な対応ができる体制を整えている。 ・サッカーの練習内容を事前に職員で共有し、利用者の個々のレベルや発達段階に適しているか話し合い、利用者へ寄り添った支援ができるよう意識的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期的な目標や課題のみならず、長期的な成長目標を定めながら支援を進めていく。 ・利用者の技術レベルに合わせたグループに分けて練習するなど、より充実した支援が出来るように取り組んでいく。
2	・子どもたちが「楽しい」を実感できる多角的なプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日等にサッカー以外の特別なイベント(遠足等)を積極的に企画、実施しており、子どもたちの新しい興味関心の発見や集団での楽しみを共有する機会となっている。 ・学級日にはサッカーの活動の前に、公園で遊んだり、室内で様々なレクリエーションを実施し、心身ともにリフレッシュしながら「楽しい」と感じられる環境づくりを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年人気なイベントは実施しながら、新しいイベントも模索し実施していく。 ・レクリエーションにもコミュニケーション能力が向上するような内容も取り入れ、楽しく成長出来るように取り組んでいく。
3	・保護者との強固な信頼関係	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の活動内容を細かくケア記録に記載し、お子様が事業所でどのように過ごし、どんな様子だったのか出来る限り細かく丁寧に伝えている。 ・送迎時の短い時間でもその日の活動の様子をなるべく詳細に伝えるようにしており、良かった点、頑張った所を共有しつつ、課題点なども伝えて家庭の様子を伺いながら支援に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連絡ツールの強化。活動の管理システムや職員の携帯電話で連絡を取っているため、休みの指導員にショートメールで連絡して、出勤している職員への共有が遅れてしまう時がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域社会との連携・交流の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・連携のきっかけとなる関係性や仕組みが整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、学校側から学校と他の事業所と保護者で担当者会議が行われることがあったので、少しずつそういった機会をきっかけとして、連携が取れるように仕組みを構築していく。
2	・保護者同士が交流し、情報共有や悩み相談が出来る機会の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズの把握や、就労状況を考慮しすぎるあまり、集まる事のハードルが高いと判断し、保護者会等の開催を控えていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後初めての懇談会を予定しており、参加状況や参加者の様子を踏まえて、定期的開催するか検討していく。
3	・災害時訓練の実施状況や非常時対応に関する情報発信の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練の実施に重点を置き、当日参加した利用者へのみ発信しており、外部へ発信できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなどを利用し、訓練実施を発信できるように仕組みを作っていく。